

予算要求特集号

学校予算を上手に使おう

～ 教育効果を高めるために全教職員の知恵とアイデアを～

予算の有効活用で学校は変わります

みなさんは予算要求というと何を思われますか。
「毎年、来年度の備品の希望をだすあれのことでしょう。」

確かに今までは教材教具の整備充実だけに目が向けられがちでした。

でも、みなさん、「物を買う」ことだけが予算ではありません。予算を有効に活用することで学校の可能性が広がります。



「何を買いたいか」ではなく「何をやりたいか」を考えましょう

みなさんをご存じでしょうか。

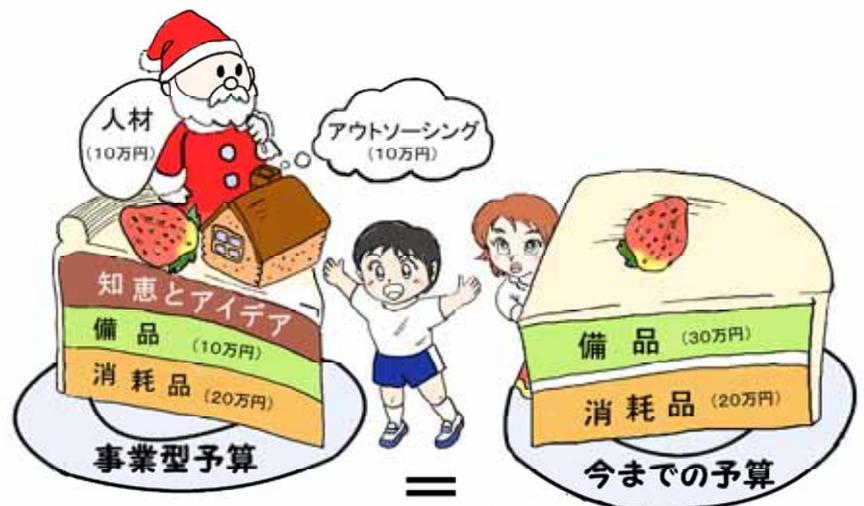
小林市は全国に先駆けて、学校予算の総額裁量制を実施しています。

この制度は、学校予算の総額を提示して、何にいくら使うかは学校の裁量に任せるといふものです。

限られた予算の中で、まず、学校を維持管理するための予算（学校管理費）をしっかりと確保して、教育活動を推進する予算（教育振興費）をどう使うか、みなさんの知恵とアイデアを出し合いましょう。

そのためには、

「何を買いたいか」=「物」ではなく
「何をやりたいか」=「事業」を考えて
てみるのが大切です。



スクラップアンドビルドが ポイントです

同じ50万円でも・・・

総額裁量制とは言っても、緊縮財政の中で予算状況には厳しいものがあります。

まず、何をスクラップ=節減できるかを考えて、新たなビルド=事業を構築していきましょう。

